

相川 あいかわらばん 瓦版

第28号

2017年7月25日発行

《編集・発行》

佐渡市産業観光部

世界遺産推進課

電話 0259-63-5136

FAX 0259-63-6130

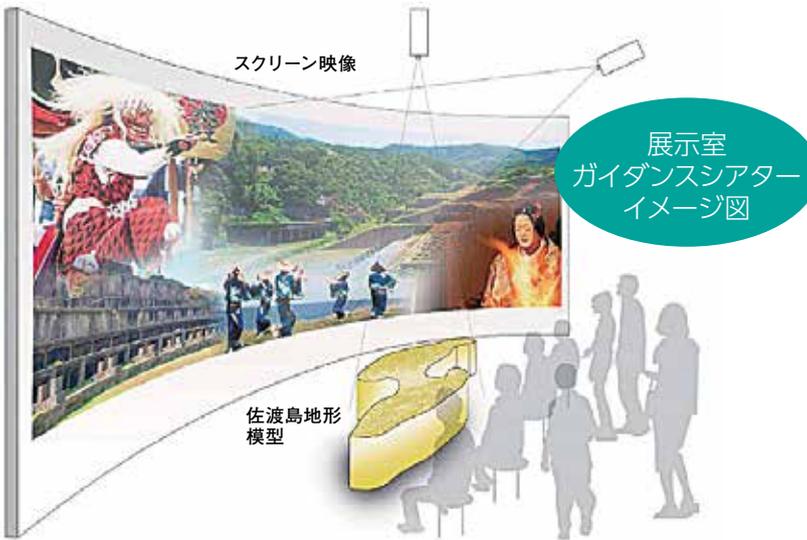
佐渡 金銀山 ガイド ダンス 施設 仮称 を

相川に建設

新潟県と佐渡市では、現在、相川地区にある旧佐渡会館を解体し、その跡地に「佐渡金銀山ガイドダンス施設（仮称）」を建設する計画を進めています。

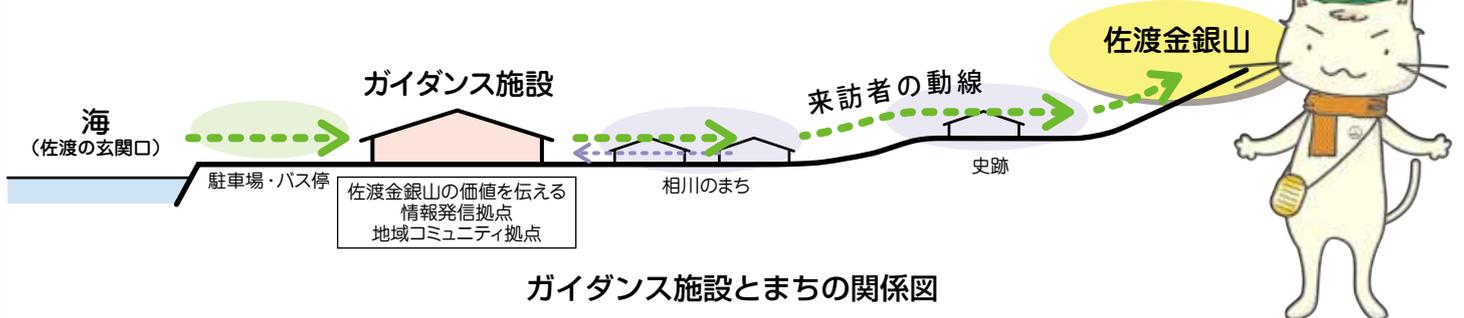
このガイドダンス施設は、佐渡金銀山の価値を分かりやすく解説するとともに、現地を訪ねるための情報発信や、地域のコミュニティの拠点となることを目指しています。

今後は、平成29年度に実施設計を策定し、平成29～30年度に建築・展示工事を行い、平成31年4月にオープン予定です。



整備の基本的な考え方

- ①佐渡金銀山への玄関口として、遺跡の価値や魅力を発信し、来訪者の現地への円滑な誘導を図ります。
- ②史跡、まち歩き（探訪）などの魅力情報を提供し、相川のまちと来訪者をつなぎ、まちの賑わいを創出する拠点とします。
- ③地域観光・地域交流の促進など、来訪者と地域の方々の交流の場とし、まちのネットワークの拠点とします。
- ④海からの北西風や塩害など、厳しい自然環境に配慮した施設とします。



相川金銀山が世界遺産に？

「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の登録を目指して

新潟県と佐渡市は佐渡金銀山の世界遺産登録を目指して取り組んでおり、そこに相川金銀山が含まれていることは多くの方がご存知だと思えます。では、実際に相川のどのようなものを世界遺産にしようとしているのか、あらためてご紹介します。

世界遺産としての価値

400年以上にわたる歴史をもつ佐渡金銀山では、その歴史のなかでさまざまな鉱山技術が導入され、発展してきました。そうした技術の発展を今に伝えているのが、関連する「遺跡」や「建造物」などです。江戸時代から近現代まで、各時代の技術の痕跡がそこにあります。また、鉱山の発展を支えていたのが「鉱山町」です。

これらがまとまって残されている佐渡金銀山は、その歴史や技術の全容を知ることができる大変貴重な遺産です。



相川金銀山の関連遺産（世界遺産の候補）

集落 上町（国重要文化的景観）



佐渡代官の大久保長安によって台地上に町立てされた鉱山町。伝統的な町家や、近代の鉱山労働者の社宅などが並ぶ。

集落跡 上相川（国史跡・国重要文化的景観）



安土桃山時代末期の相川金銀山開発にともない形成された鉱山集落。鉱山町相川の発端となった場所。

港湾施設 大間港（国史跡・国重要文化的景観）



明治25年に「たたき工法」によって築かれた鉱山専用の港。鉱石の運搬や鉱山の資材搬入に使われた。

管理施設 佐渡奉行所跡（国史跡・国重要文化的景観）



慶長8年に佐渡代官（のちの佐渡奉行）の大久保長安によって建設され、江戸時代における佐渡の鉱山経営と行政の中心だった。

発電所 戸地川第二発電所（国史跡）



大正8年から昭和52年まで稼働した水力発電所。ここから9kmにわたって送電線が設置され、鉱山へ電力が供給された。

石切場 吹上海岸石切場跡（国史跡・国重要文化的景観）



鉱山用石磨（いしうす）の上磨の石材を切り出した石切場跡。近世から近代にかけて長期的に採石がおこなわれた。

その他の関連遺産（相川）

採掘跡（道遊の割戸・大切山間歩・大立豎坑・道遊坑）、排水施設（南沢疎水道）、近代の鉱山施設（北沢浮遊選鉱場・高任貯鉱舎・間ノ山搗鉱場）、石切場（片辺・鹿野浦海岸石切場跡）

開催報告

第3回 町民遠足

町民遠足が6月13日に開催されました。当日は、相川の小学生からお年寄りまで、幅広い世代の「相川町民」約60名が、「相川ふれあいガイド」の案内で下町を散策しました。

この遠足は、相川が大好きな地元有志により結成された「すきだっっちゃ相川会」の主催で、昨年6月に初めて企画されました。「相川に暮らす私たちが相川の魅力を語ることができたら、相川を訪れる人達も相川をもっと大好きになってくれるのでは」という想いから始まったイベントです。

今回のテーマは「下町ゆっくり散歩」で、塩竈神社（相川江戸沢町）から善知鳥神社（相川下戸村）まで、寺や神社、町家が連なる裏通りを中心に散策しました。なかでも、寺や神社は普段相川にいてもなかなか行く機会のない場所です。「境内や社殿に初めて入った」という方もいました。相川に数ある寺や神社をひとつひとつ見ていくと、鉱山に関わりのある由緒や興味深いエピソードがそれぞれにあり、参加者の皆さんにも新たな発見があったようです。

久しぶりに裏通りを歩いた50代の方は、「小学生の頃に通学路として使っていた近道があった」と、懐かしい思い出を話してくれました。あるときは参加者それぞれが思い出などを語るガイドとなつて、語り合いながら散策できるのも町民遠足の醍醐味です。



町家を眺めつつ小路を抜けて、相川二町目から相川五郎左衛門町へ。



相川公園付近(栄町)に集合し、いざ下町のまちなかへ！



遠足の最後は相川公園内にある「恩賜金記念碑」について説明を受けました。

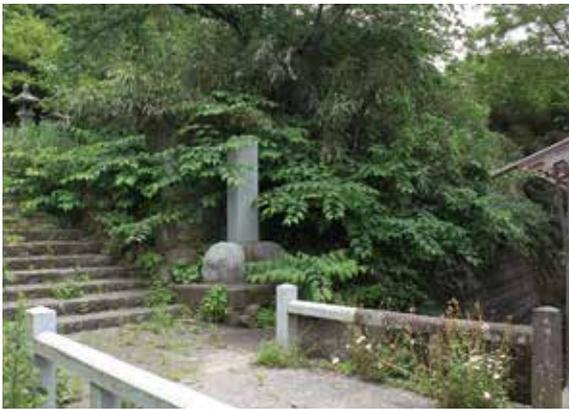


塩竈神社（相川江戸沢町）では、小さくて可愛い狛犬を見つけました。

恩賜金とは？ 明治22年、佐渡鉱山は皇室財産となり御料局佐渡鉱山となりますが、その後、皇室から民間に払い下げられ、明治29年に三菱合資会社(当時)に移管されました。その払い下げの際に、相川町(当時)に交付された御下賜金(ごかしきん)です。



塩竈神社



間切川（赤川）に架かる石橋

相川の今昔

「塩竈神社」

江戸沢町の駐車場（昔バスセンターがあったところ）の脇から間切川（赤川）に向かって歩いていくと、川に架かる石橋と対岸にある石段が目に入る。石段を上ると右手に塩竈神社の鳥居と社殿が見える。

塩竈神社は、本来は塩焼きの神であったが、現在は安産の神としての性格が強くなっている。初めは相川塩屋町に社殿があったが、慶長年間（1596～1615）に近隣の長坂に処刑場と牢屋ができたため、寛永

16年（1629）に江戸沢町に遷されたという。

また、境内の脇を流れる間切川では、ちょうど塩竈神社の付近で南沢疎水道（坑内の湧水処理のために江戸時代に掘られた排水用の坑道）からの排水が湧き出ている。

今月のにゃんじー

「朝顔で早起き」

早起きが苦手なにゃんじーですが、朝顔のおかげで最近では早起きできているようです。



第29号の予告

◆活動報告 ほか

次回9月25日
刊行予定